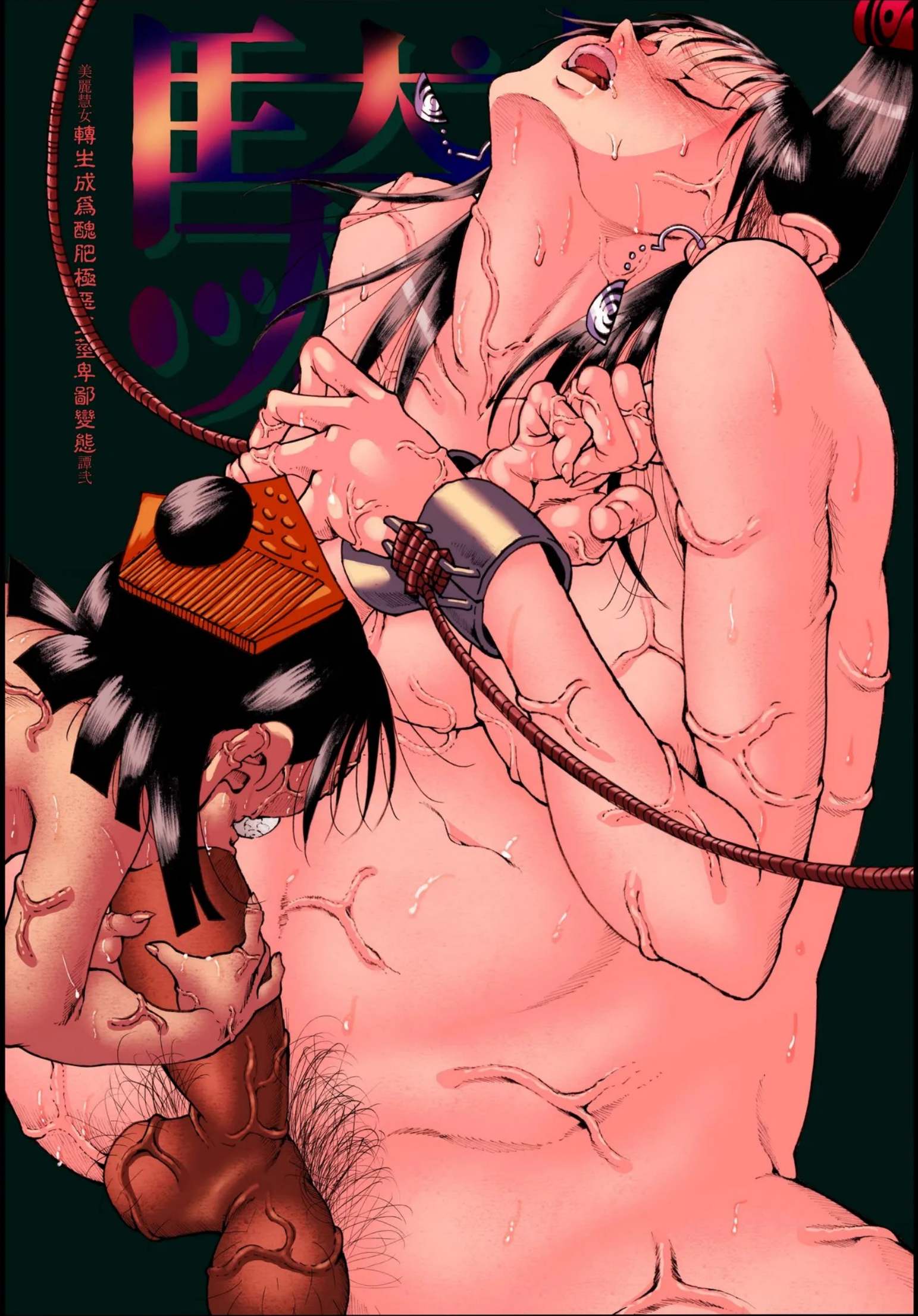
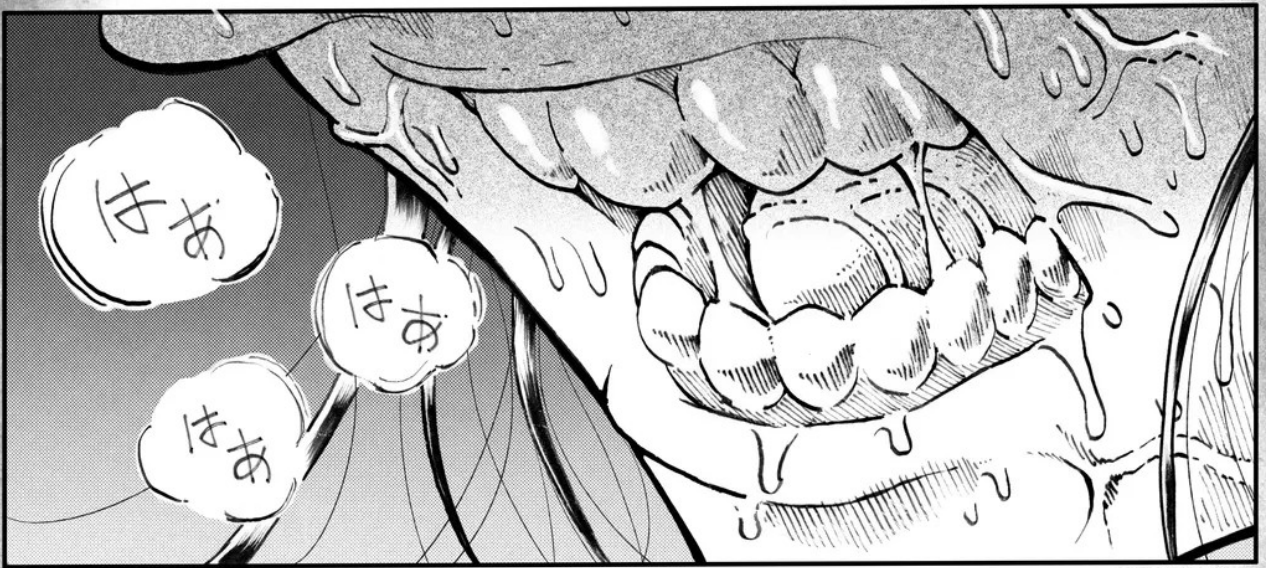


大馬

美麗慧女轉生成爲醜肥極惡、下等卑鄙變態譚式



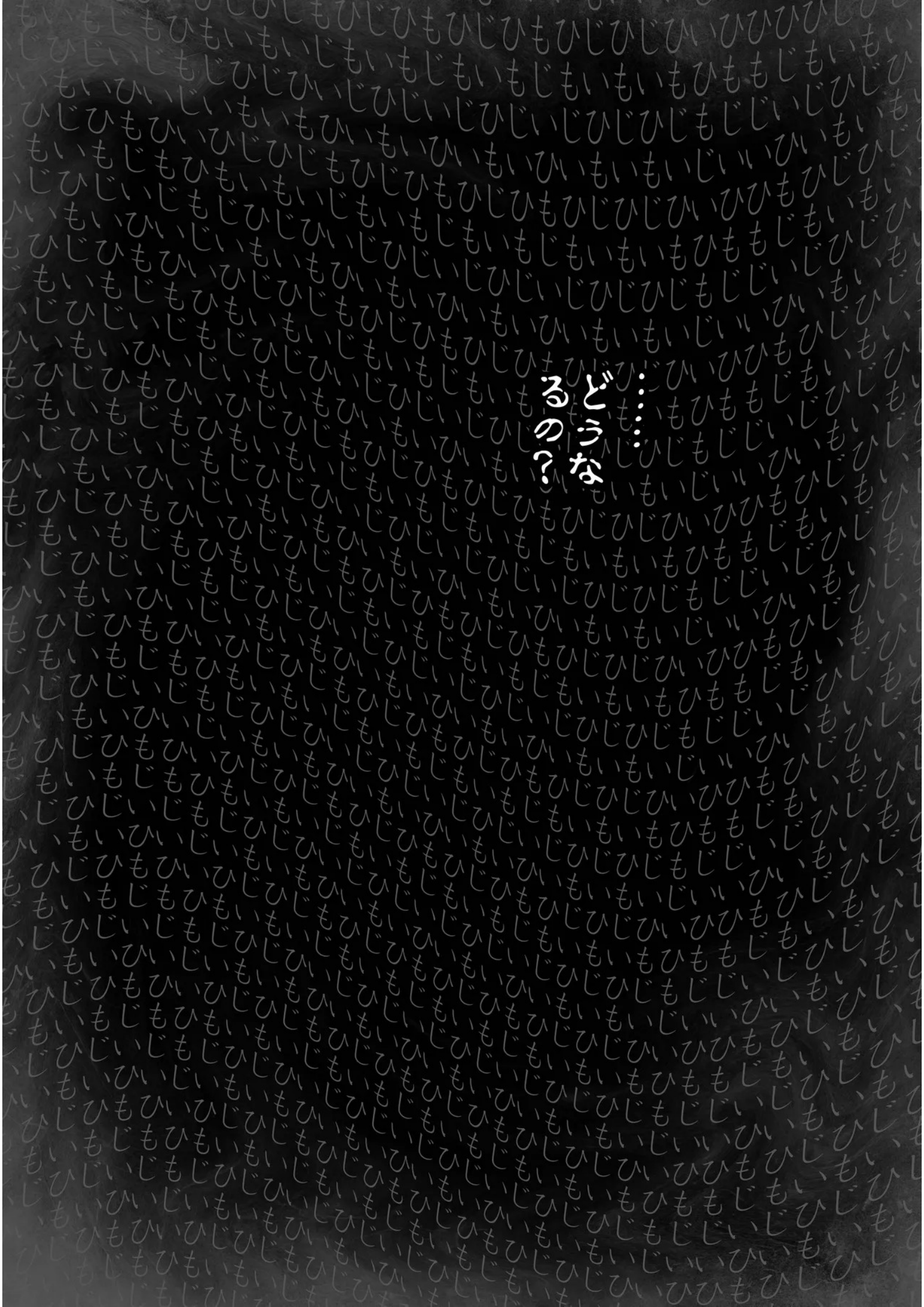


これに

耐えても

意味ない

ぜんぶ

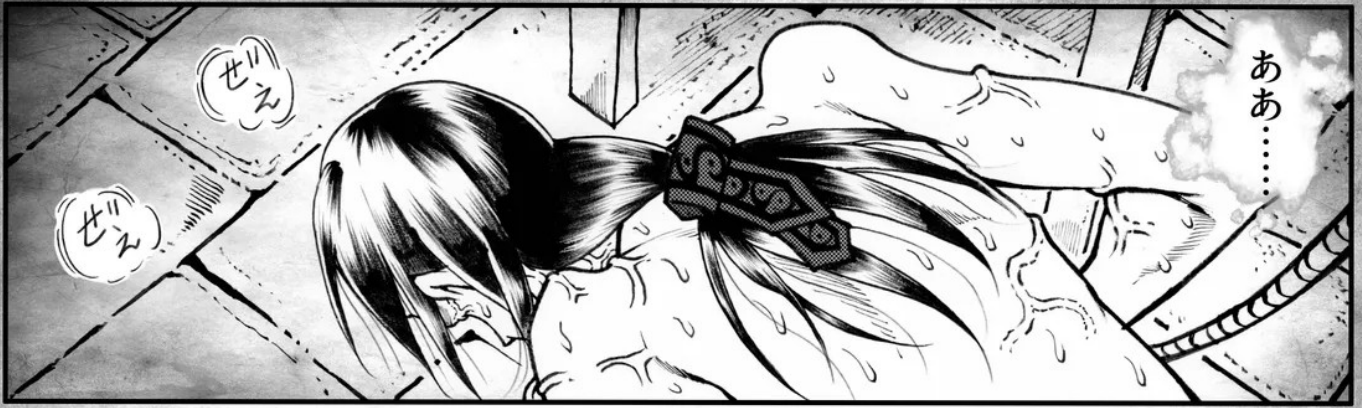


るの?ど
づな

る飢に
の息ん
たて容だ

いひ
のち
だじ

てに鉛んど
容敏感ん
覚ど
た





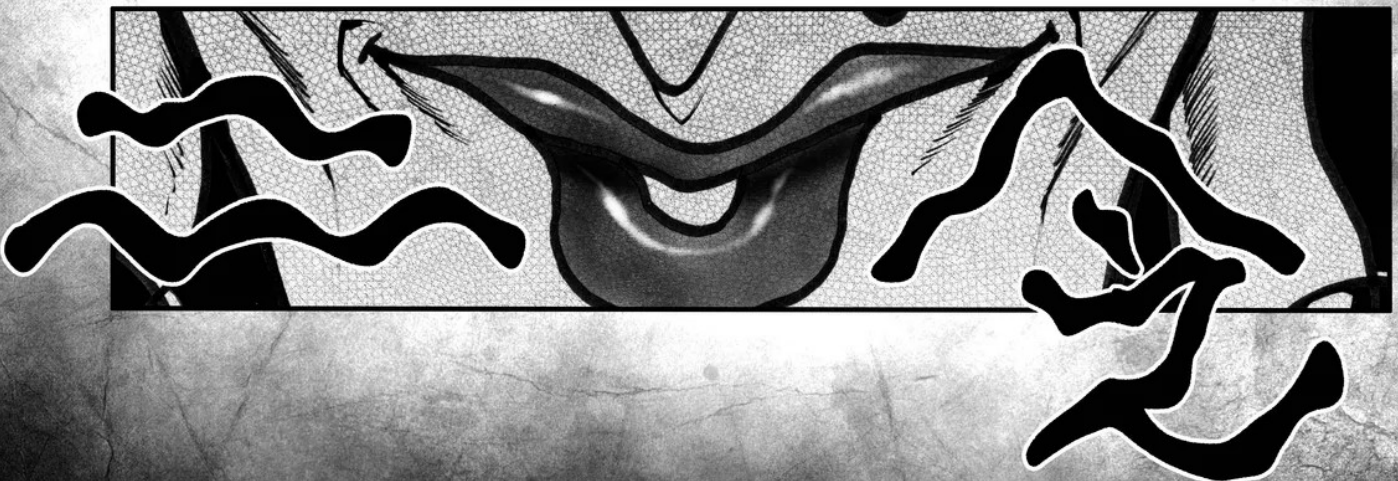
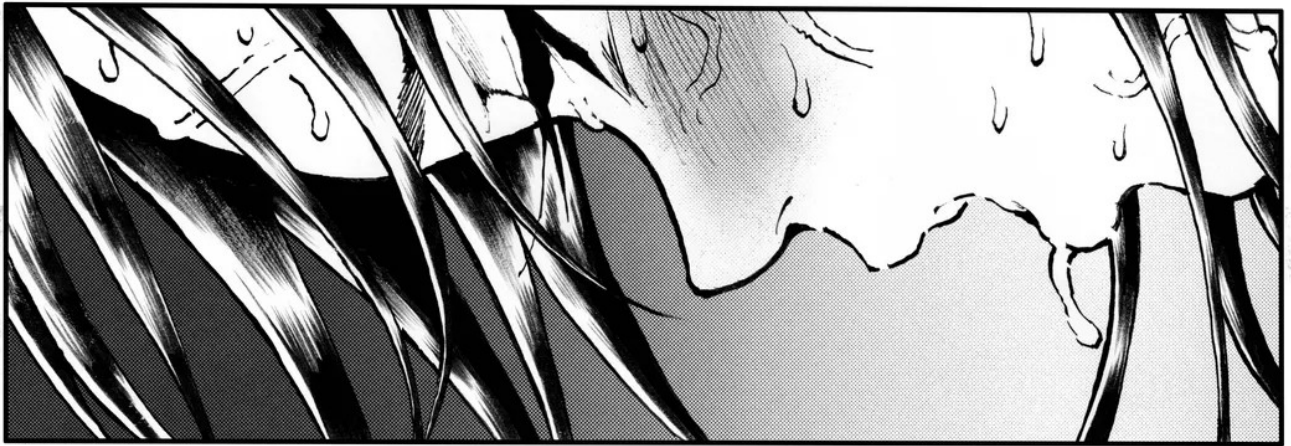
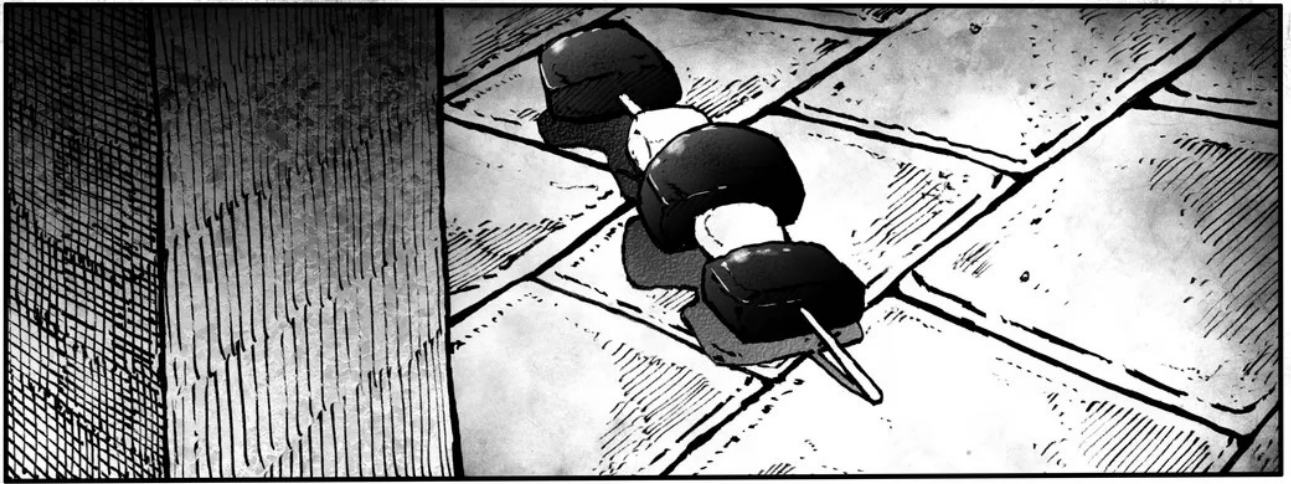
たぐさんの
蟲がなかで
うごめ
毒いてる
ような...

あ
あ
あ

あ

あ







あらあら……
せつかくの
お肉を……

じゃあぜんぶ
さげてしま
ましようかあ



食べたくな
ないのに
置いてても
腐らせる
だけで
もつたない
わあ……

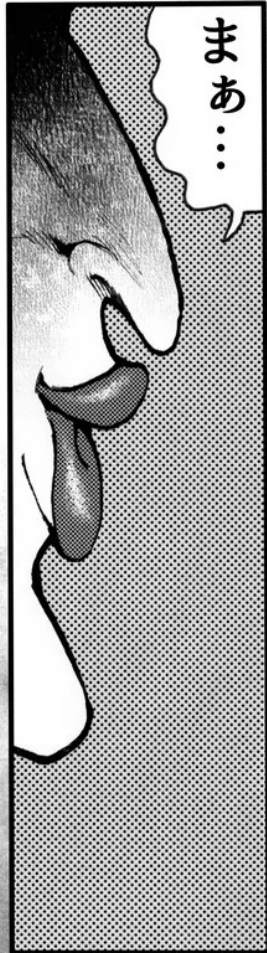


え？

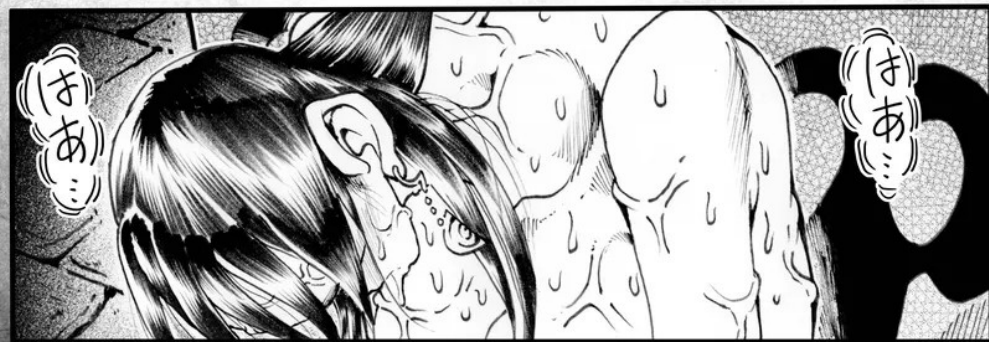


貴方が
懇願して
どうしても

「食べさせて
ください」って
言うのなら
残してあげても
いいのだ
けれど……



まあ……

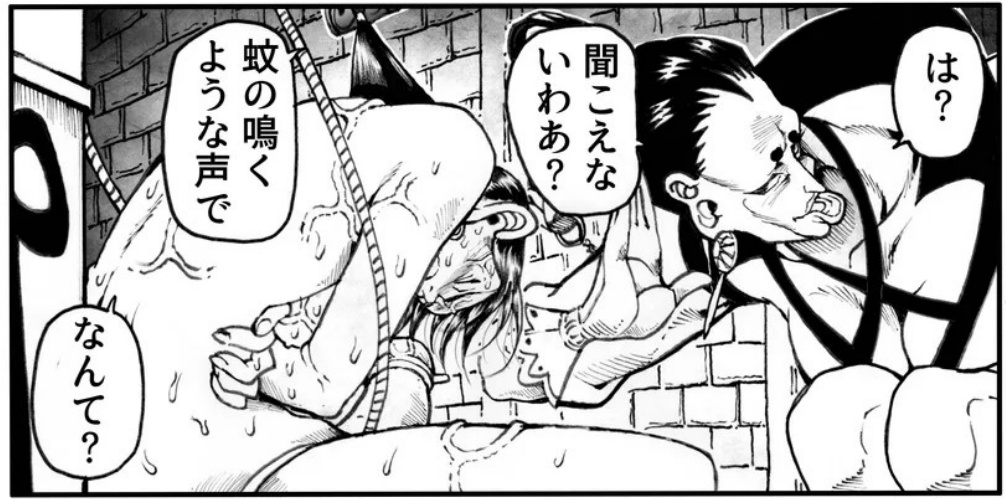
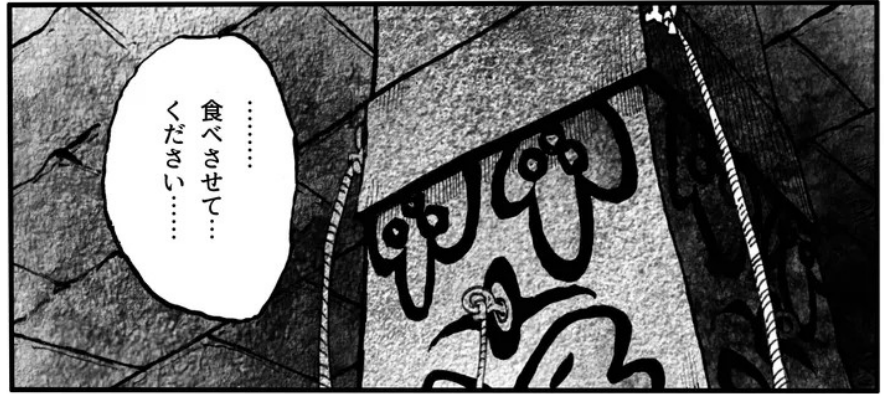
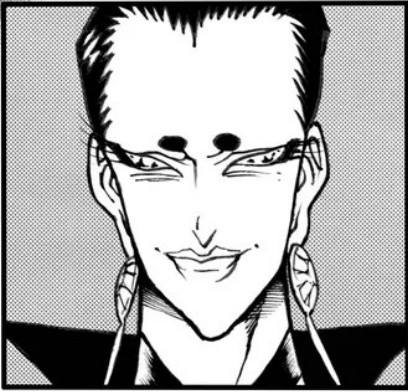


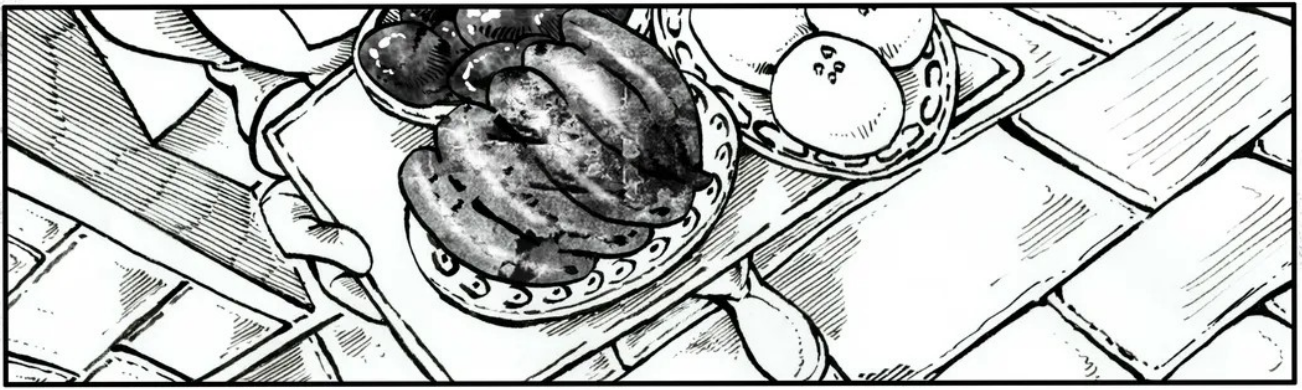
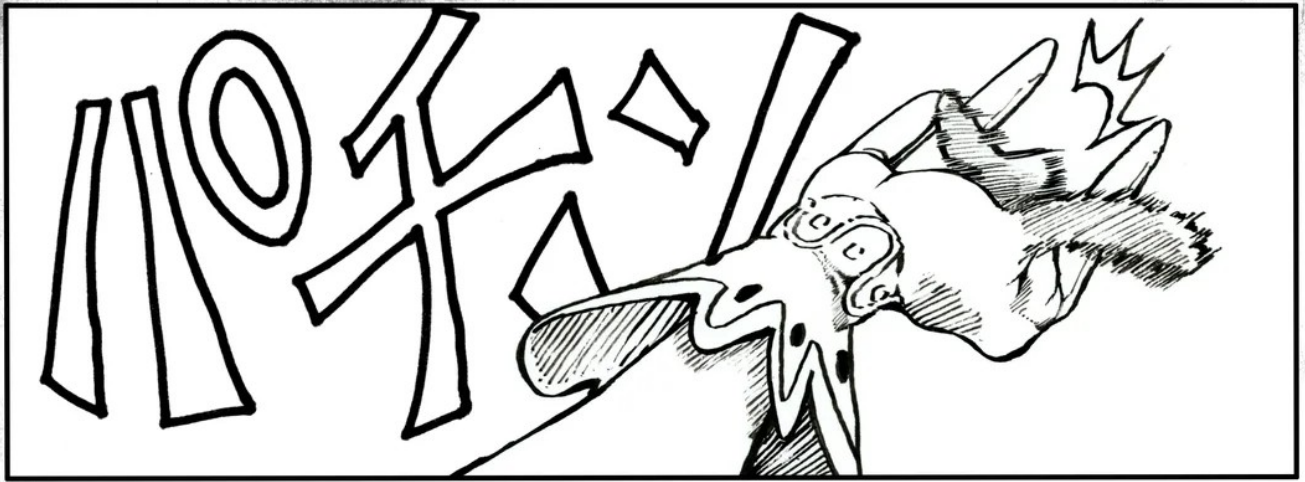
はあ……

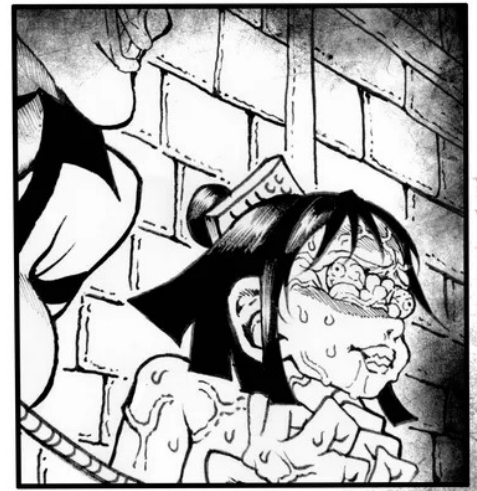
はあ……





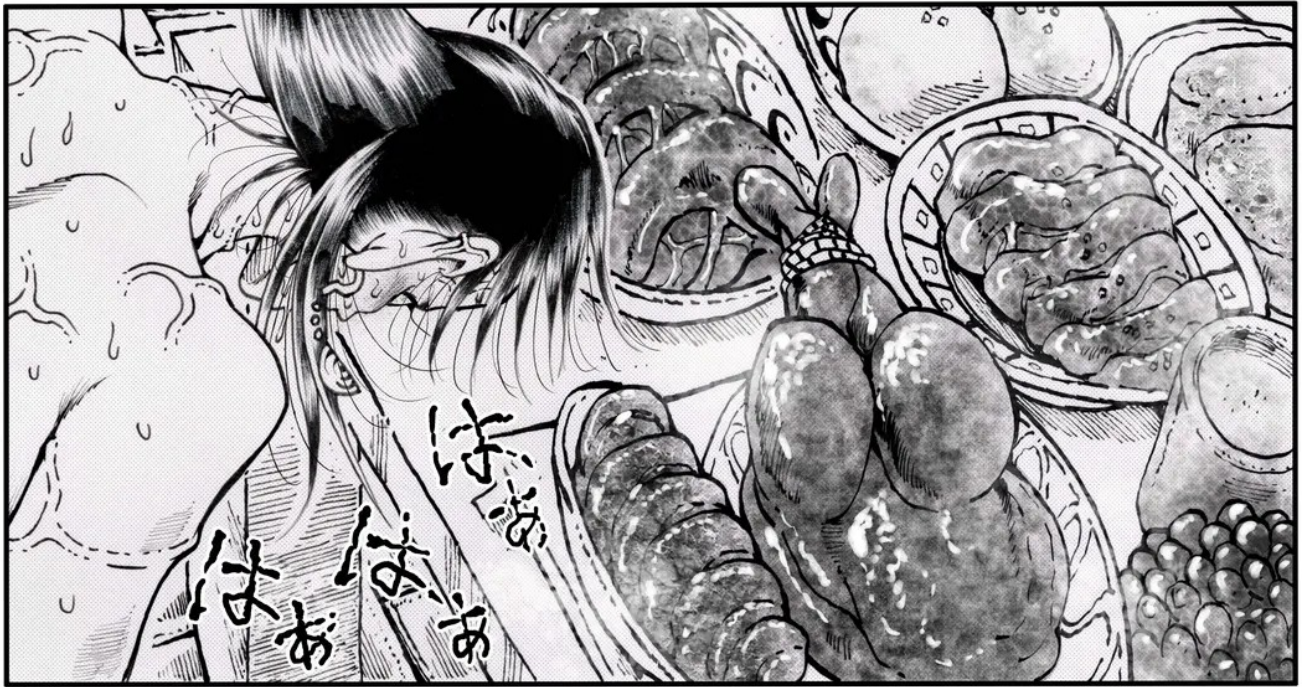




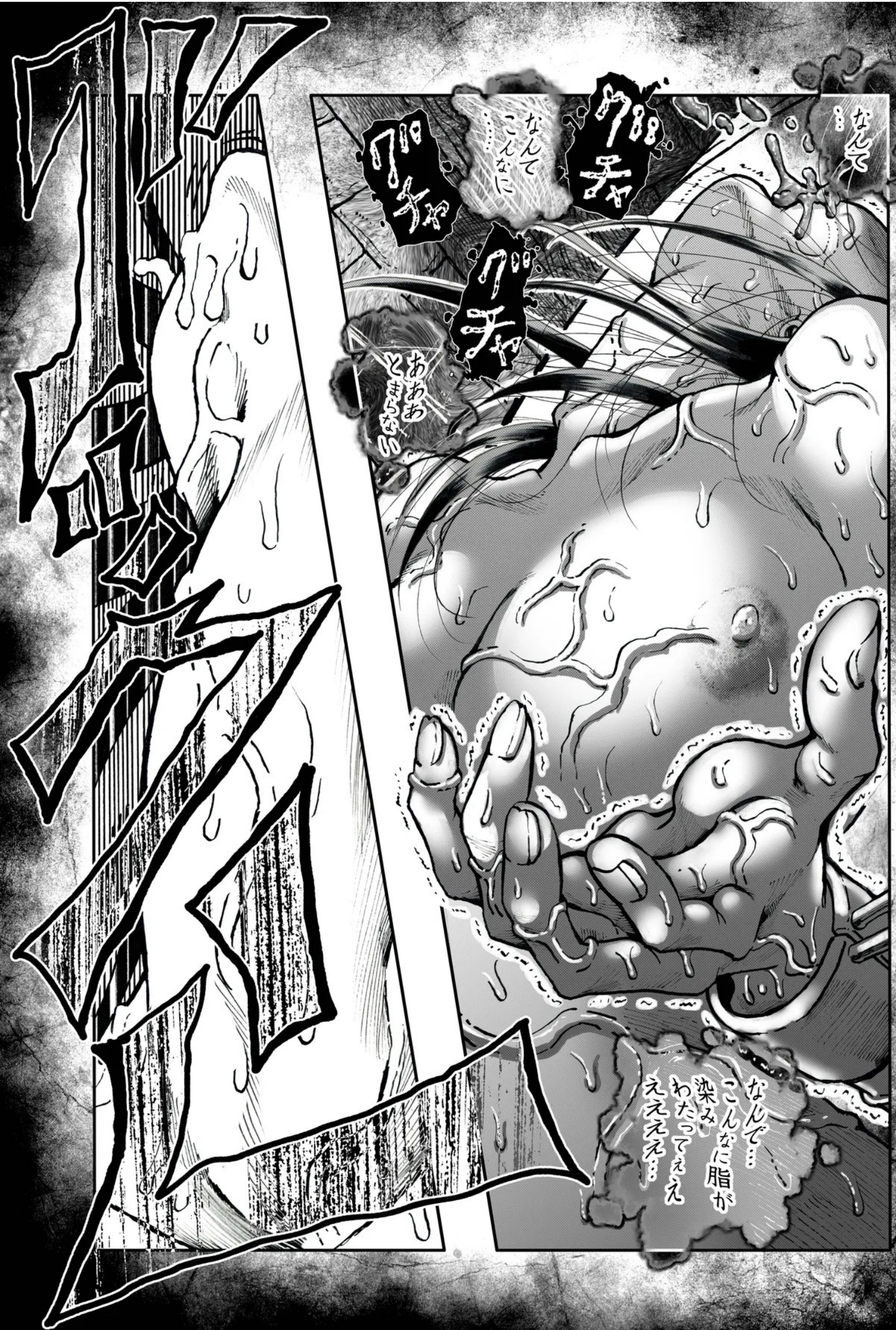




なにかな
だいな
ものがああ…
でもお
おお…
もおお
もおお







なんて

めま

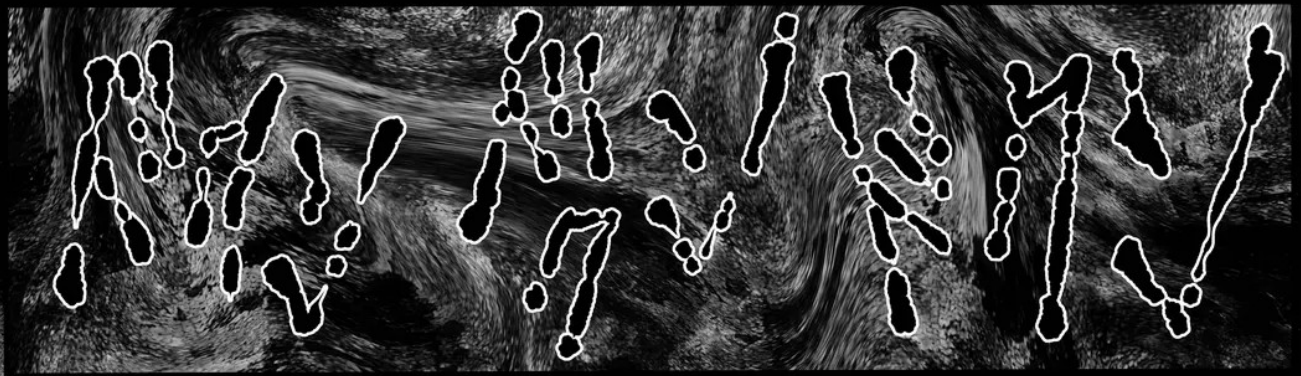
なんて
こんななに

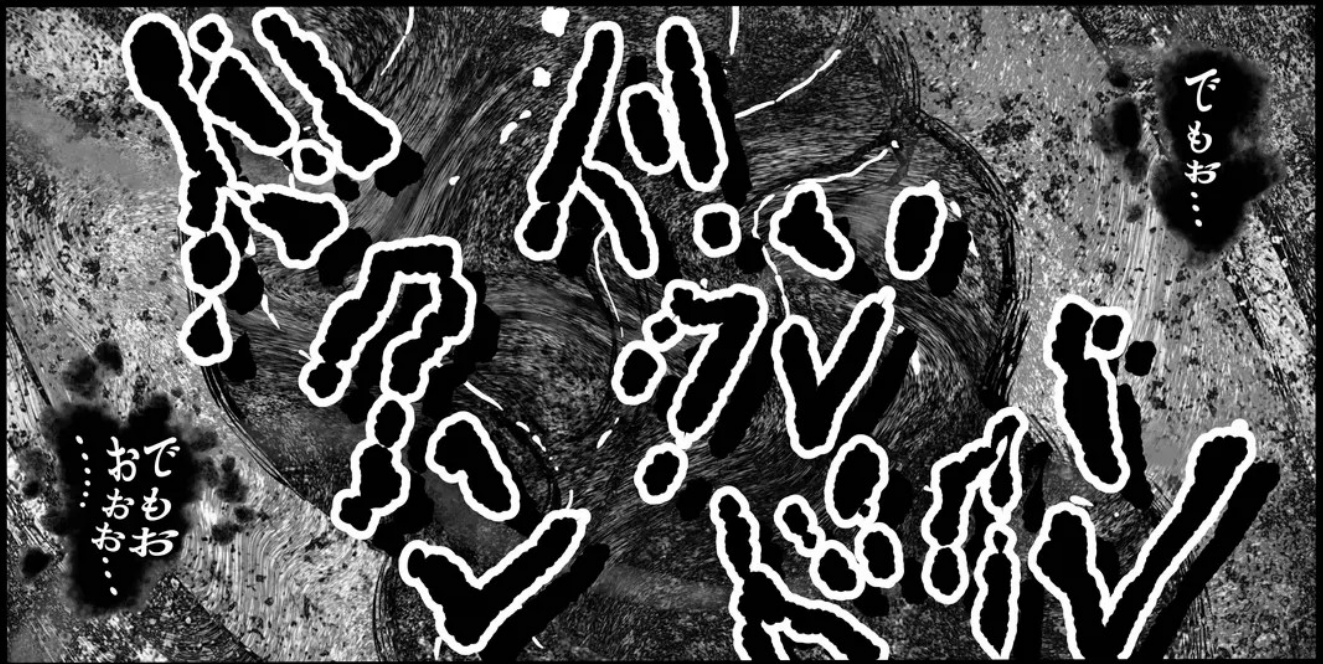
めま

めま

あああ
とまらぬ

なんて...
こんななに脂が
染み
わたってええ
ええええ...





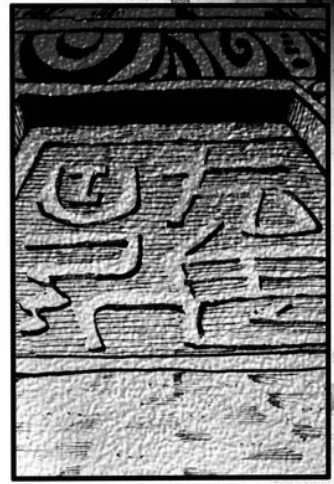




ムイちゃんも
ずっと
なんだか……

罪悪感でも
混じり
ながら……

どこか
素直に欲を
解放して
いなかった
けれど……



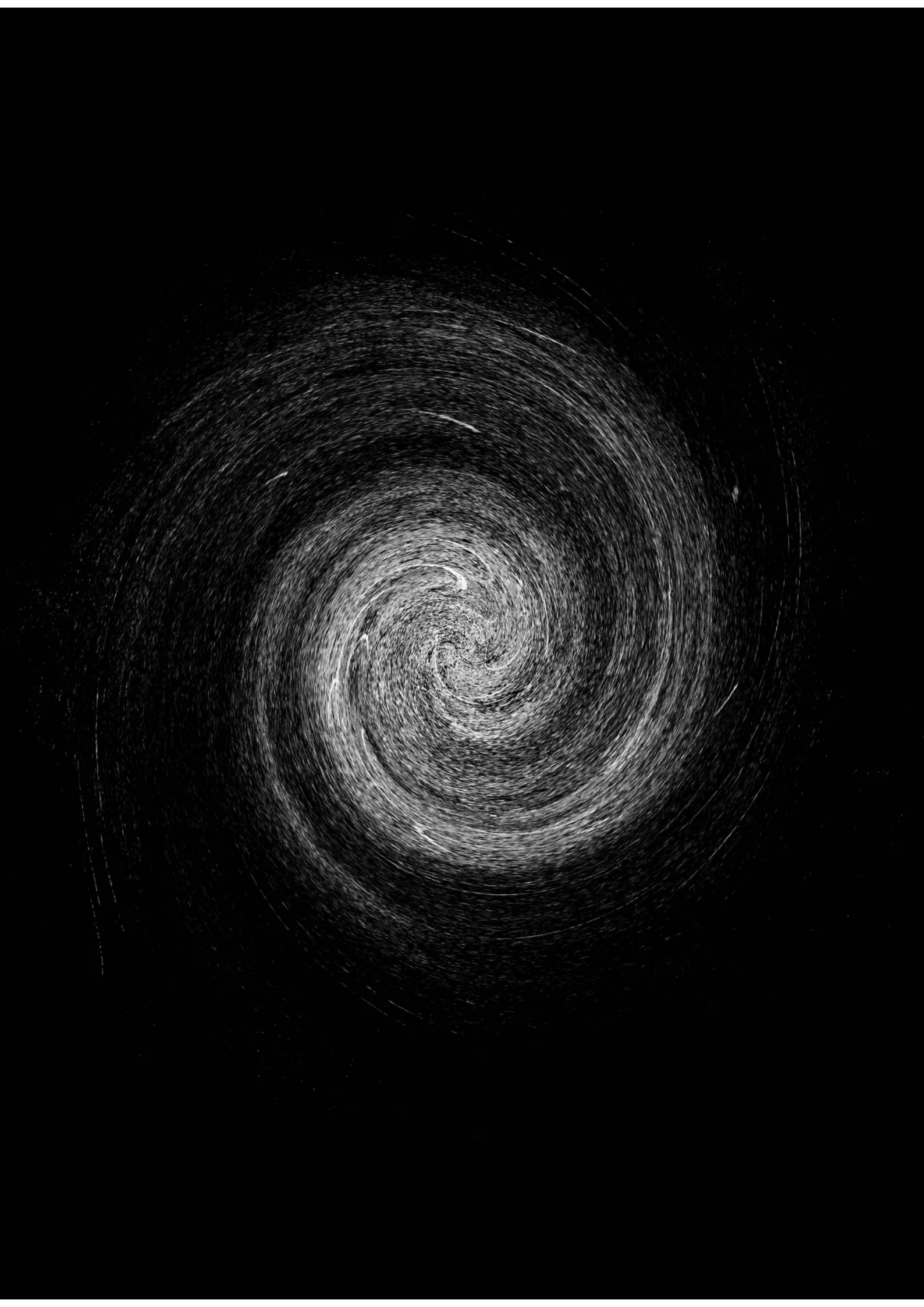
すっかり
もう遠慮なく
喰らうように
なっちゃって



ツンタンさんの
素直さを
目の当たりに
してから……

それで
どんどん
肉棒も
そだって
いってええ……







ほおら
ムイちゃん
かっもく
刮目
なさあああ



ツンタン
お姉ちゃんの
あのおなか…

もうひとくち
食べたら
腹がはちきれ
くらいまで
たらふく
喰らってえええ…

ガ
ガ
ガ





や...

やめて.....

こんな姿...

こんな姿
ああああ.....

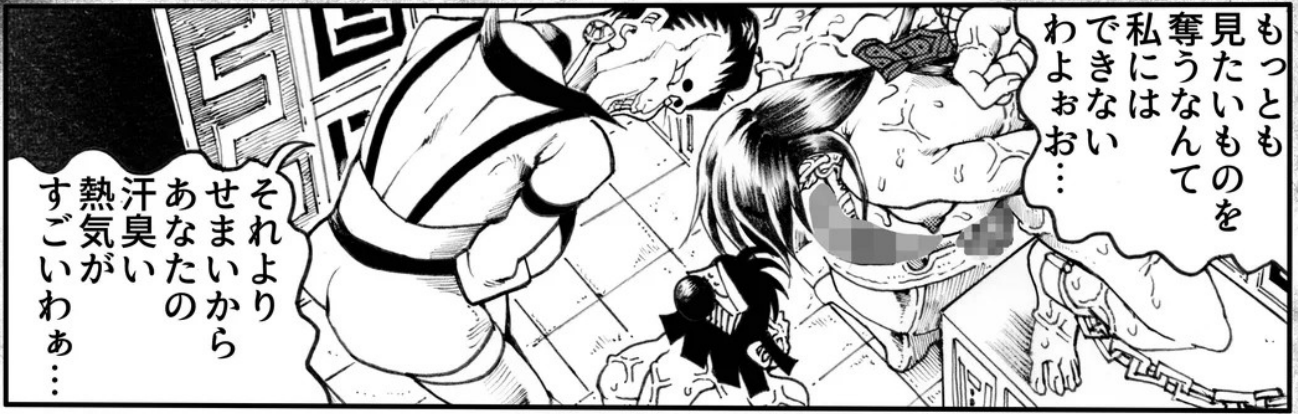
ひひひ...
人前で
なんて...



せめて...

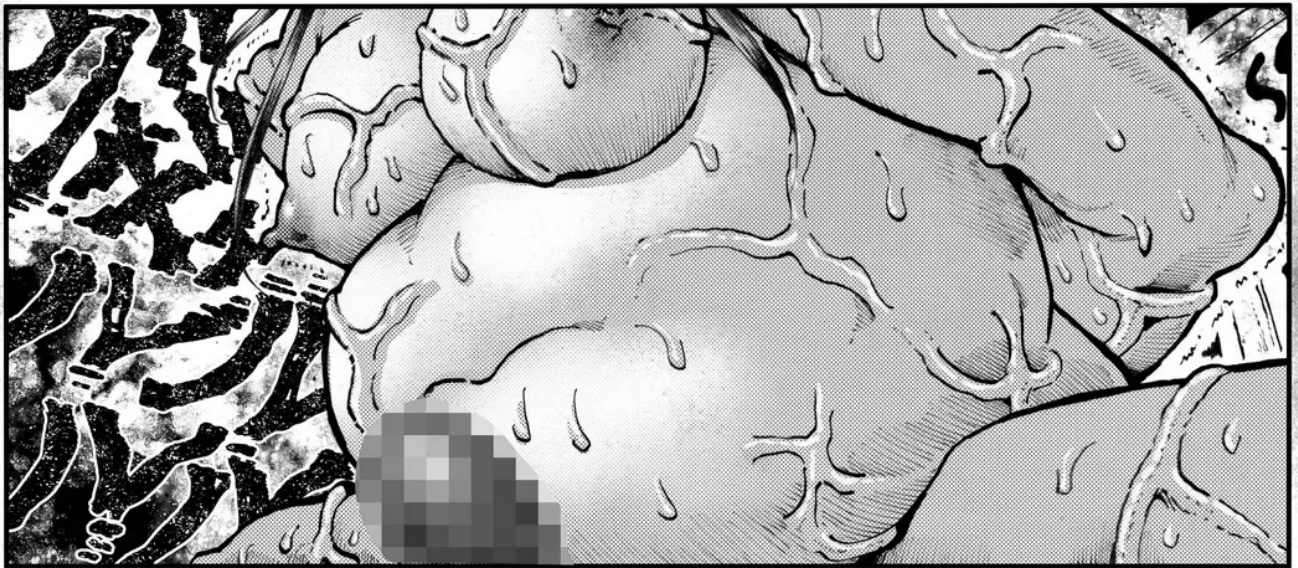
ム...

ムイを
どこかに...



もつとも
見たいものを
奪うなんて
私には
できない
わよおお…

それより
せまいから
あなたの
汗臭い
熱気が
すごいわあ…



ヒヒヒヒ!!
これが
欲を詰めて
人目も憚らず
穢れを垂れ流す
この女の
本性よおお



おなか
いたい…!

おなか
ああ
あ



あぁ

あぁ...

あぁ.....

あぁ.....



あぁ

あぁ



どっちが嘘？

目に見えてるもの
すべてが偽りの
ぜんぜん
違ちがいすすもの

ここは
偽物の
世界？

これは
偽物の
ツンタン？

ツンタンツンタン
これが本監
あのツンタン

はあ

はあ

はあ



これ
が
本
当
?



待た

待た

待た

待た

待た

グチャグチャ

グチャグチャ

グチャグチャ





ああ……ああ



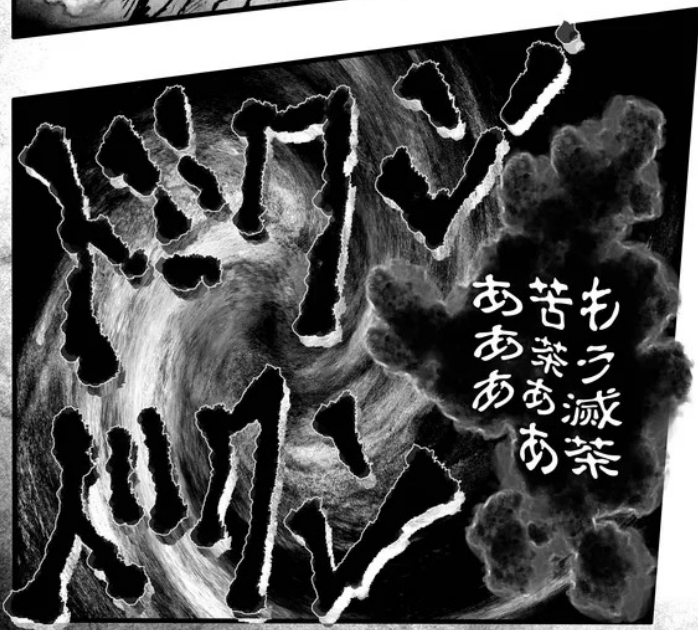
なんてこと……

なんでごと……!!



私の出したものに……ムイのが……!!

あああ……



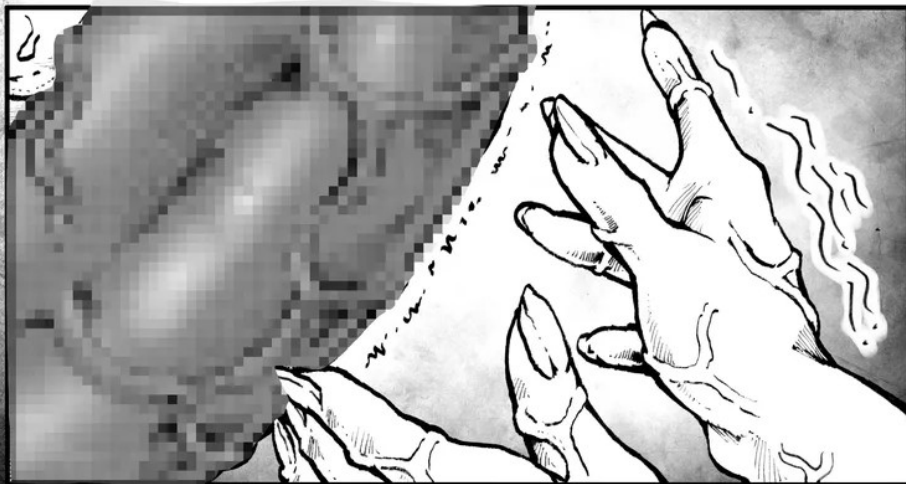
もう滅茶
苦茶ああ
ああ

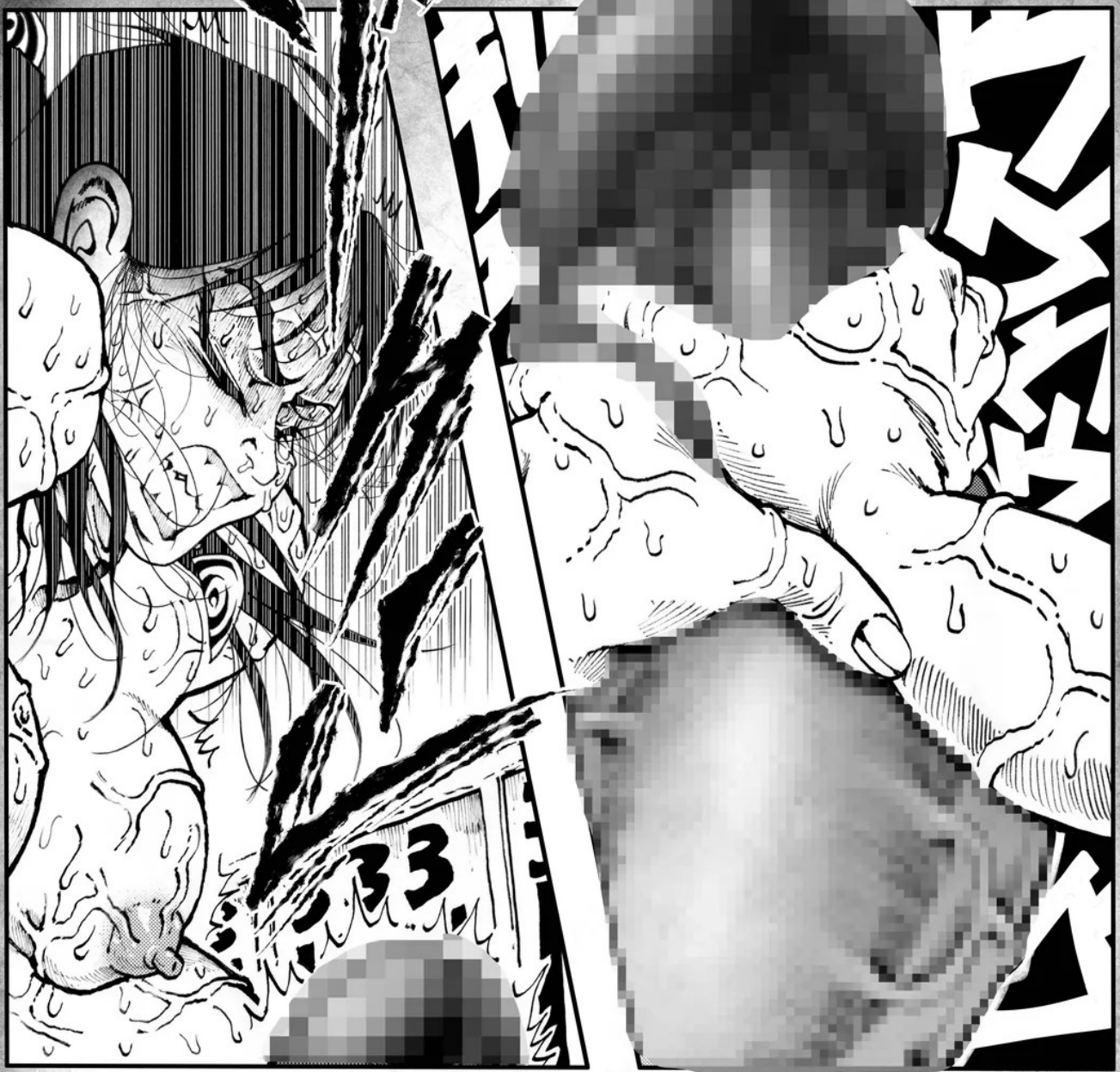


糞を
見られて…

こんな悪臭を
漂わせながら…

興奮丸出しの
すごい勃起…





ひひひひ
ウンチして
大きくしてる
ツンタン：

こんな
変態チンポ
しごいて
あげるううう



あああああ
あああああ!!!





ああ
……!!

あああ……
……!!



すっごい痛い!!
こいのがつぎから
つぎへと
おとおお!!!

すっごい
たまってた
んだねええん!!!

糞まで
同時に
ぶっぱをして
えええん!!!

アッ
アッ
アッ

あぁ...



あぁ...



あぁ...

あぁ...



いっぱい食べて
いっぱい出して

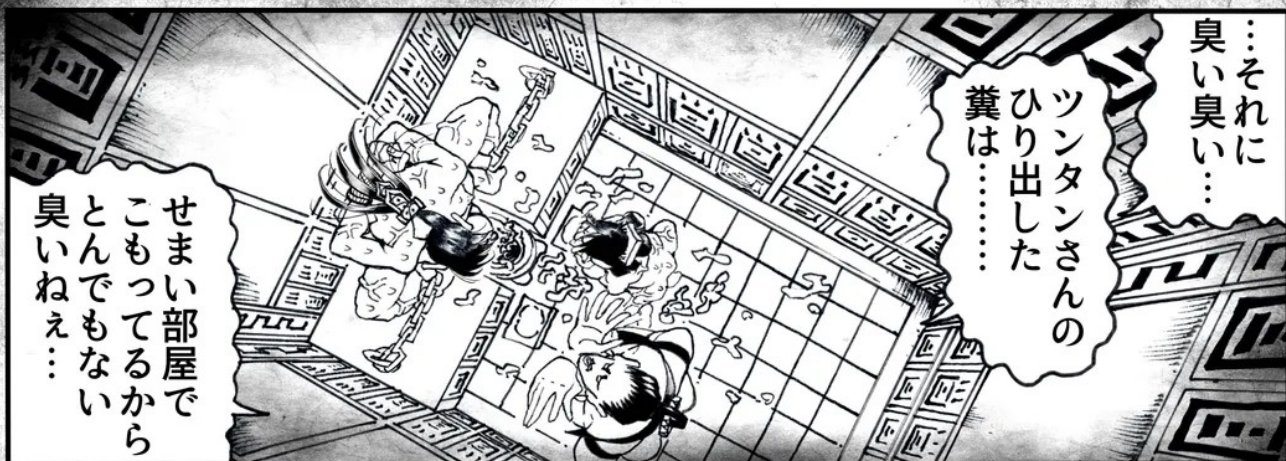
代謝が
亢進してええ

ツンタンさん
すっかり
ない感じに
きてえええ

もう何も
言わなく
たって...



どんだん
おのずとステキな
本性をさらして
いってくれそう
な
気もするけれど...



…それに
臭い臭い…

ツンタンさんの
ひり出した
糞は…

せまい部屋で
こもってるから
とんでもない
臭いねえ…

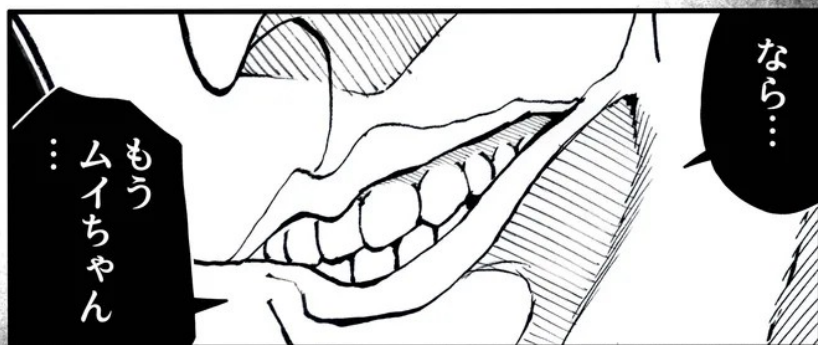


でも
その
糞臭に…

ムイちゃんの
チンポは…

さつき
しごいた
ばっかりなのに

まだまだ
そそられてる
みたいでえ

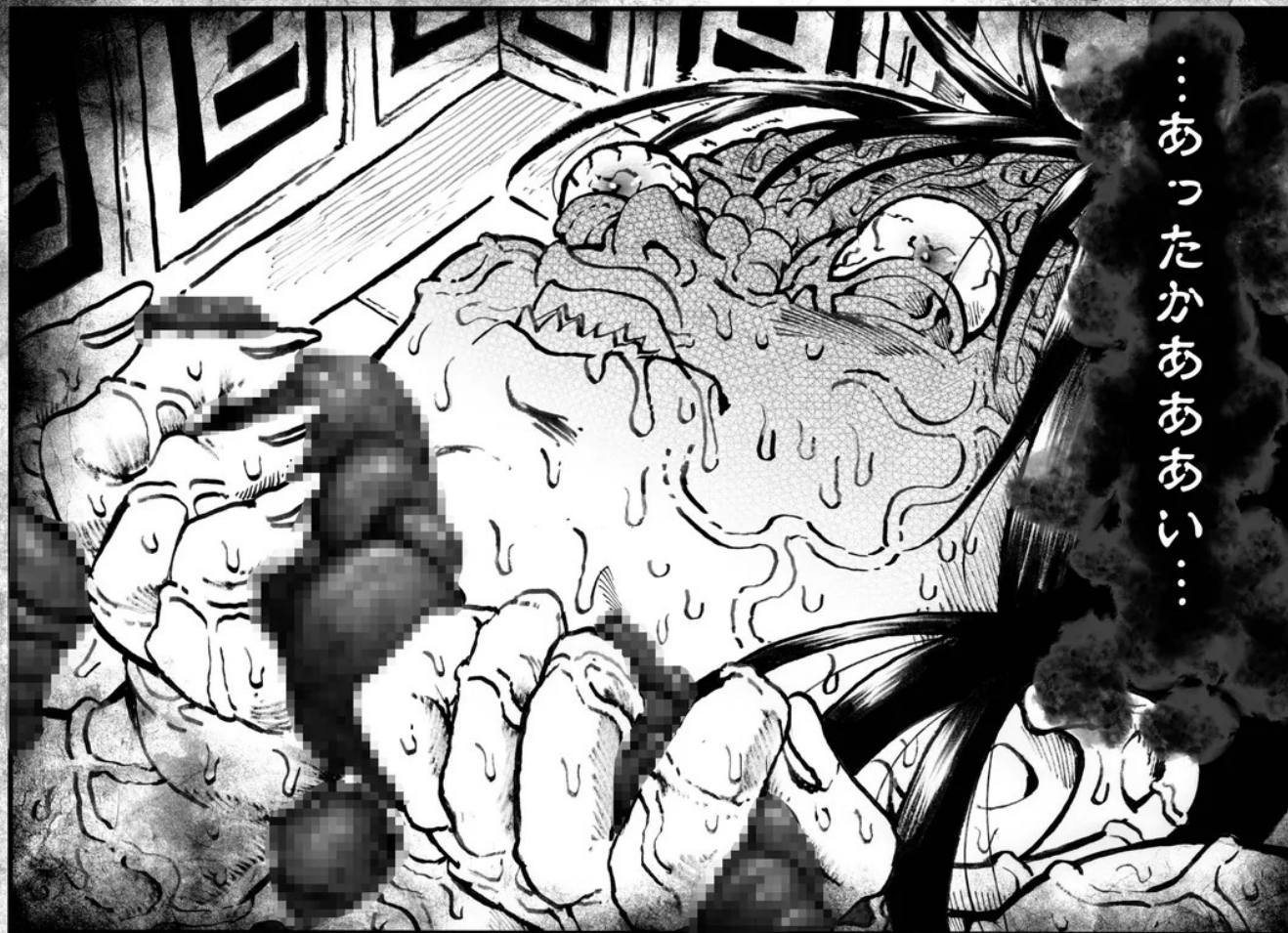


なら…

もう
ムイちゃん
…

いつそ食べてみるう？



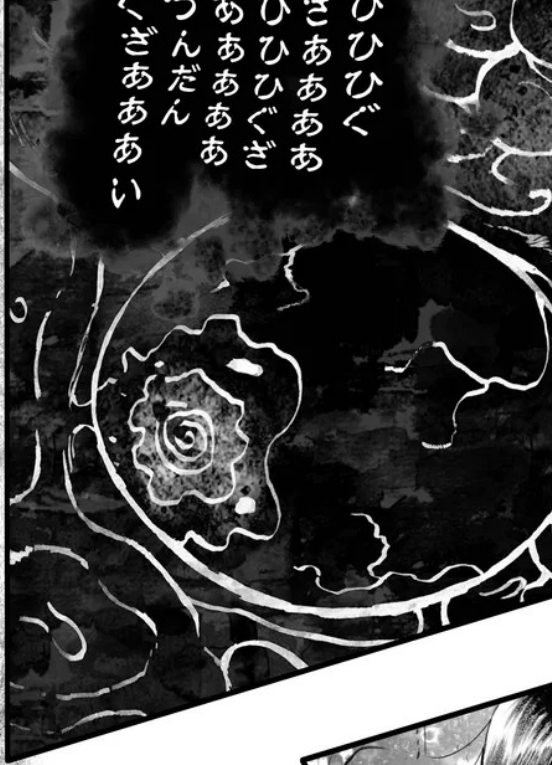




アアアアアア
アアアアアア
アアアアアア

ひひひひ
ぎああああ
ひひひひ
ああああ
つんだん
ぐざあああ

アアアアアア
アアアアアア
アアアアアア

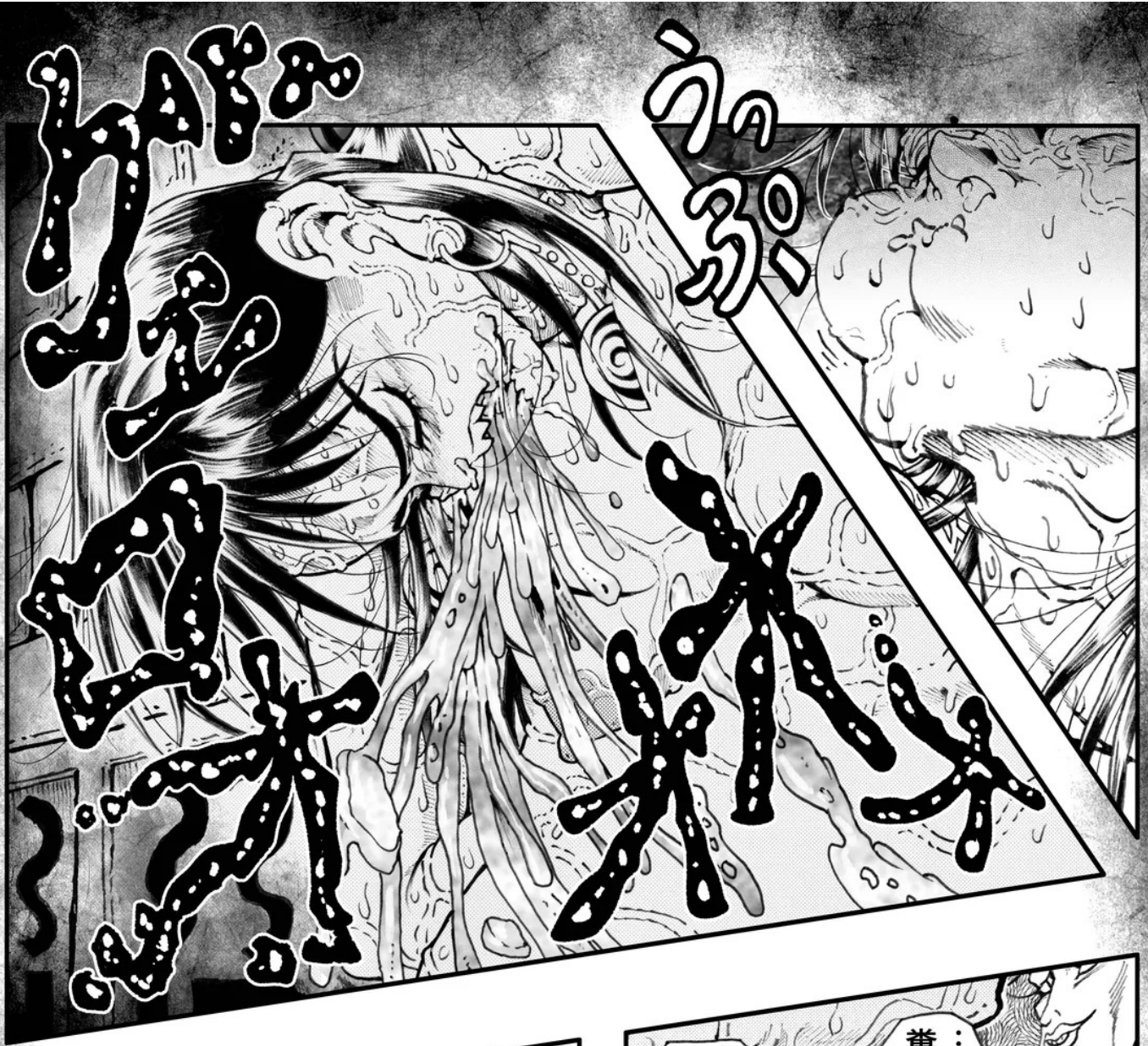


このブタ
ゾオオオオ
ザアアアア!!!



あああ
.....
ムイ.....
ムイ.....

はあ
はあ







やめて…
…ムイ

ああああ

やめてえ
えええ…

はあ

はあ

はあ



ああああ…!!!



うんうん

もつとっつぱい
好きをあげ
出せえええ!!

まのまがしいい
でじょおおお!!

うんばつがりうんばつがり
うんばつがりうんばつがり!!!



出ひや出ひや
あああああ!!!





出た後に
もつとツンタン
子ンボ脈
打ってえええ
ひひひひひ

せえ せえ



せえ せえ

あああああ
ひどひどひど
いひひひひひ
なんでえええ



肉にく肉

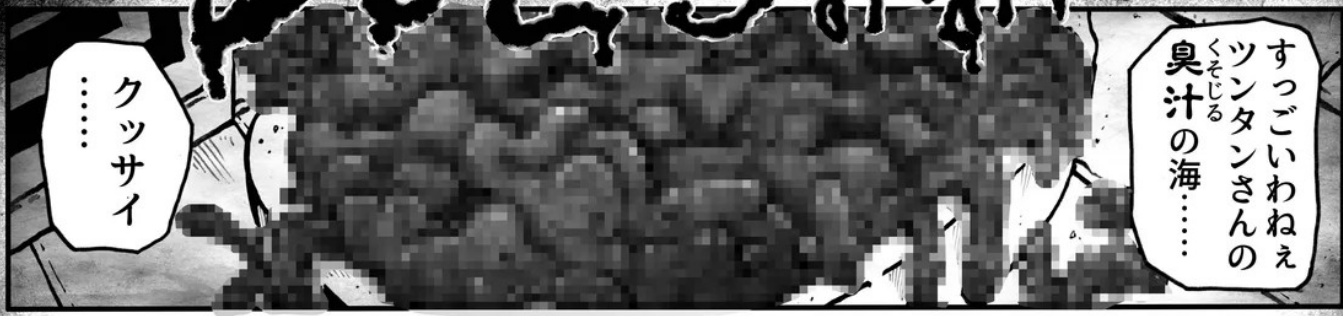
肉にく肉
うう!!!



な
ひ



おおいおおい



クツサイ
……

すっごいわねえ
ツンタンさんの
くそじる
臭汁の海……



ムイ
ちゃんたら
ツンタン嬢の
勃起チンポを
シゴきすぎ
でしょう……

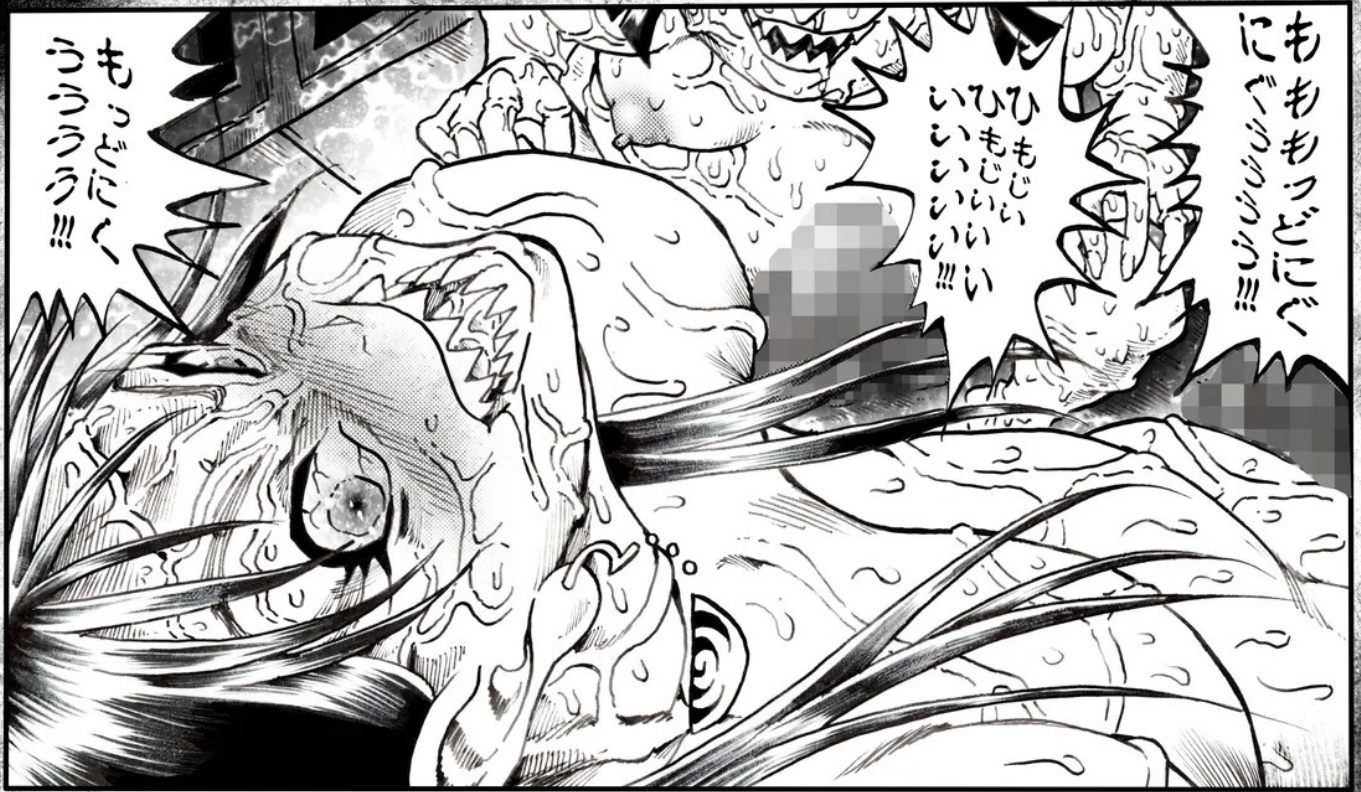
それが
偽らざる愛
だから……



でも
これだけ
チンコシゴいて
出しまくったら

ツルツルだった
キレいな肉棒も
すっかりビキビキの
バツキバキに
そだちやつてええ

剥ける
まえより
太いわより
おおいお



ももももどにぶ
ももももどにぶ
ももももどにぶ

ひもじい
ひもじい
ひもじい
ひもじい
ひもじい
ひもじい
ひもじい
ひもじい

ももももどにぶ
ももももどにぶ
ももももどにぶ
ももももどにぶ



……フフフフ
それは
ツンタンさん
も……

こんな
あさましい
本性
まるだしに
なっちゃう
でしよう



ゴトゴト



わたしは
かまわない
けれど……

アタナが
あんなに
嫌っていた

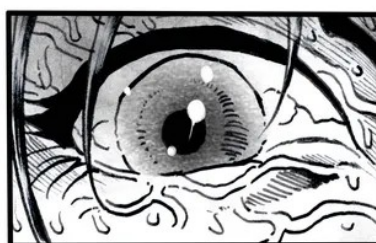
「じんく
人醜
なので
おす
けれど……」



あああ
にべにべ!!

うう!!
うう!!

はやぶ
うう!!



一杯食べて
一杯出して
肉棒が馴染ん
できたら……

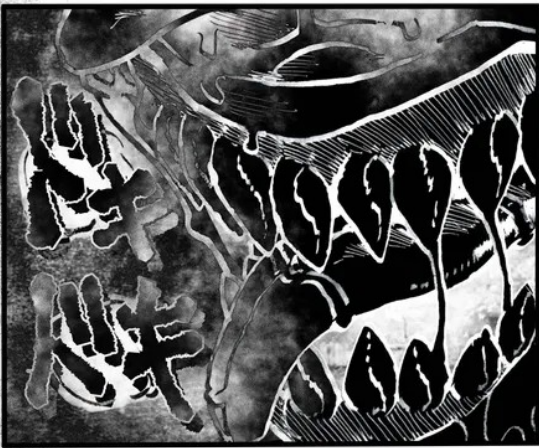
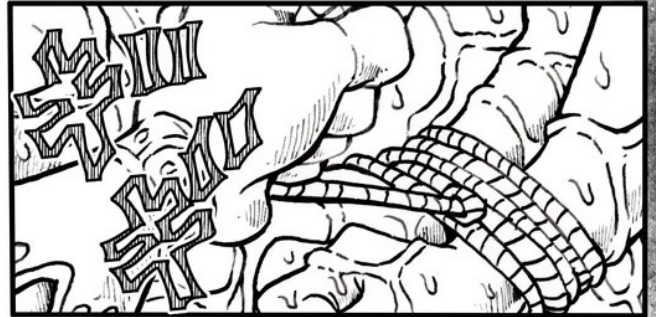
こっちの方が
おいしく感じる
みたいでねええ

クセになつて
病みつきに
なつて……

二度とあともどり
できなく
なつちゃうけれど
いいのかしらあ?

「あなたの言葉は
信用ならない」
と言われ
私の心は
傷つきました…

これからは
私の言うことは
なんでも
信じますか？



は…

は…

はあ

はあ







うまああああああああああああ

